

見島小中学校だより

第2号



発行責任者 校長 中野 貴夫

豊かな心と健やかな体を持ち、夢の実現に向けて自ら学び続ける見島っ子の育成

6月1日に全校集会を行いました

毎月1日は、全校集会の日です。

今月の「先生の話」では、藏田教頭先生から危険生物でもあるヘビについての話がありました。ヘビの大きさや種類、能力などの話のほか、なぜあんなに大きく口が開くのか、毒を持っているヘビと持っていないヘビはどのように見分けるかなど、たくさんの写真を示しながら分かりやすく説明されました。「見島にもヘビがいるので、ヘビについて少しでも正しい知識をもって安全に過ごしてほしい。」という藏田教頭先生の思いが伝わったのか、子どもたちも藏田教頭先生の話に聞き入ったり、積極的に質問したりして、とても有意義な時間となりました。



また、今回の全校集会では、子どもたちによる今年度初の「共同一致」の歌と踊りが披露されました。これまで、朝の時間や総合的な学習の時間等を活用して練習を行ってきたものです。本当は、5月30日のふるさとまつりで発表する予定でしたが、残念ながら中止となったため、発表することができませんでした。これからも練習を重ねて見島の伝統文化を受け継ぐとともに、また島民の皆様の前で堂々と発表できるようがんばってきたいと思います。



学校運営協議会(体プロ)によるかぼちゃの種植えをしました

5月27日(木)に学校運営協議会(体プロジェクト)の
■会長さん、■委員さんのご協力により、「かぼちゃプロジェクト(かぼちゃの種植え)」を行いました。これは、子どもたちが自ら野菜を栽培し調理するなどの体験を通して、食物や生命の大切さ、生産者や親への感謝の気持ちなどを育むことを目的としています。■会長さんの説明のあ



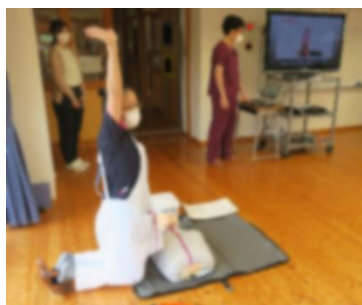
と、実際に子どもたちもかぼちゃの種をポットに植える作業を行いました。併せて、さつまいもの苗もいただき、耕した畑に肥料を混ぜて、さつまいもの苗の植え付けを行いました。

こうした貴重な体験の積み重ねが子どもたちの食への関心につながり、健康な体づくりと豊かな心を育むことに役立ってくれることを願っています。



「I can do it.」診療所の先生による心肺蘇生講習会

6月3日（木）に見島診療所の先生を講師としてお招きし、心肺蘇生講習会を行いました。最初に先生から、小中学校での心停止の実態や、心停止が続くとどうなるのかなどについての説明があり、その後、消防署からお借りしてきた訓練用の人形を使って実際に胸骨圧迫やAEDの操作を行いました。小学生には少し難しかったかもしれませんが、看護師のさんの手本をまねしながら、目標である「倒れて意識が無い人を見つけた時、実際に行動できる！」が達成できるよう、全員が真剣に取り組んでいました。



子どもたちにも分かりやすいように、ところどころでアニメやドラマのキャラクターの話を変えながら懇切丁寧に教えてくださった先生、そして看護師のさん、見島歯科診療所の先生、さん、本当にありがとうございました。



教育委員会による学校訪問がありました



6月8日（火）に、県教育委員会と市教育委員会から合わせて4名の方々が見島小中学校を訪問されました。これは、年に数回定期的に行われるもので、学校の状況を説明したり、本校教員の授業や子どもたちの様子を実際に見ていただいたりすることを通して、教育活動の成果や課題を共有することなどを目的にしています。

この日は、中学部の理科の授業と、小学部の体育の授業を見ていただきましたが、教育委員会の方からは、「昨年来たときよりも、子どもたちがすごく成長している。」、「先生たちのコミュニケーションがよく取れている。」などのお褒めの言葉をいただきました。一方、「学校・地域連携カリキュラム（学校と地域の連携等を表した計画表）については、地域の方々が見て分かりやすいものを作成し、多くの方に知ってもらうことが大切である。」とのご指導をいただきました。

このたびの学校訪問によって学んだこと、感じたことを今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。



保護者・地域のみなさまへ

これまで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る行事等の自粛要請を受け、オープンスクールやふれあいの日などにおける地域の皆様へのお声かけを自粛してまいりました。自粛要請が解除された後は、また児童生徒と地域の皆様との交流の機会を積極的につくっていきたくと考えています。その際は、いろいろとお世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。